



滋賀大学のさらなる挑戦 —COVID-19との闘いの中で—

滋賀大学長 位田隆一
陵水会大阪支部総会 2021.07.17

はじめに

陵水会大阪支部総会へのお祝い
陵水会**100**周年に向けてのお祝い

この2年間の滋賀大学

新型コロナウイルス感染症との闘い

その中での着実な発展＝文理融合型大学

⇒**滋賀大学のレジリエンス**

新型コロナウイルス感染症COVID-19への初期対応

発生初期の迅速な対応(2020.01～05)

01.30 新型コロナウイルス感染症(Covid-19)対策本部設置決定⇒学生に感染への注意喚起

02.04 第1回新型コロナウイルス感染症対策会議開催
これ以降、毎週火曜日に開催、情報共有と判断、対策決定

02.25、03.12 前期・後期入学試験実施

03.06 卒業式中止決定

03.24 入学式中止決定、学生に課外活動禁止

03.30 全授業オンライン化決定➤04.20開始

04.07 緊急事態宣言⇒学生入構禁止、1/2シフト制在宅勤務、対応指針策定
これ以降、その他の様々な措置をその都度の状況により判断、決定

04.08 DS研究科オンライン授業先行開始

04.20 全学部・研究科オンライン授業開始
感染状況を6段階に分け、制限措置の指針、課外活動ガイドライン
構内立ち入り禁止・制限

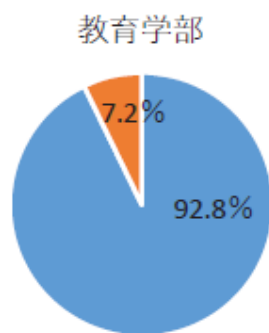
前期は基本的にオンライン授業

後期は対面授業再開（全学で約69%、経済 41.5%、DS 49.3 %、教育 92.3%）

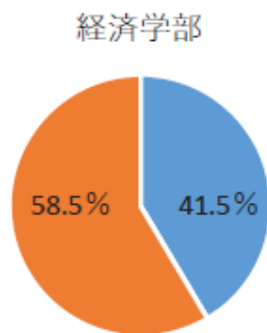
	対面授業 (対面とオンラインの併用を含む)	オンライン授業	計
教育学部	515 (92.8%)	40 (7.2%)	555
経済学部	158 (41.5%)	223 (58.5%)	381
D S 学部	67 (49.3%)	69 (50.7%)	136
合計	740 (69.0%)	332 (31.0%)	1,072

対象科目：ゼミを含む秋学期開講科目

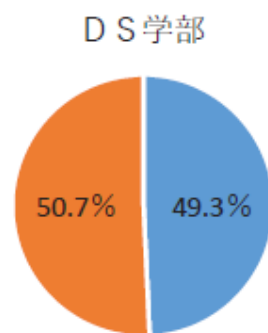
調査時期：教育学部（10月19日現在）、経済・D S 学部（10月23日現在）での調査



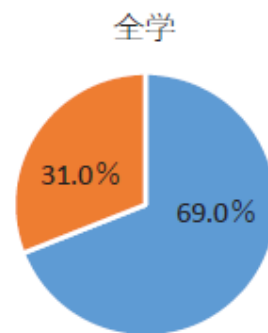
■ 対面授業
■ オンライン授業



■ 対面授業
■ オンライン授業



■ 対面授業
■ オンライン授業



■ 対面授業
■ オンライン授業

COVID-19への対応(1)

0) 感染状況

これまで感染者は学生のみで、キャンパス外＝キャンパス内感染は発生せず

1) 対応体制

新型コロナウイルス感染症対策本部・会議(R2年1月設置⇒毎週火曜日朝)

適時の情報共有と対応 方針・施策決定

2) 教育

入学式中止⇒年度末に「一年後の入学式」、および卒業式は挙行

前期:原則としてオンライン授業(PC、wifiの貸出等)、実習・実験は停止

後期:対面授業再開(10月時点で全体69%、教育92.8%、経済51.5%、DS49.3%)

ハイブリッド授業実施 = 方法の検討・試行

オンライン教育改革フォーラムでの振り返り

3) 研究

各自で感染防止を念頭に置きつつ実施

出張等の自粛要請、海外渡航もレベル毎に可否の判断

4) 国際交流

渡航制限(外務省海外安全情報に基づく制限)

⇒留学生の受入れ、派遣の困難、教職員の渡航制限、帰国指示

オンライン Shiga University International Forum 2020

ポーランド・ヤギェロン大学との学生交流⇒小学校とも交流開始

グローバルセミナーシリーズ

COVID-19への対応(2)

5)社会連携

対面による活動の制限により産学公連携の活動は抑制

→第1次緊急宣言解除(5月25日)後は感染防止策を講じつつ実施

6)学生支援

教学上の支援

SULMS、SUCCESSの活用

PC、Wifiの貸出等、通信環境への配慮

Covid-19により困窮した学生への経済上及び生活上の支援

給付金・授業料減免・猶予

ワンストップ相談窓口

心身の健康維持(特に新入生のケア、オンライン問診活用)

課外活動の制限 ⇒ ガイドライン等の策定、周知徹底

7)教職員の勤務形態の変更

特別休暇、時差出勤、在宅勤務

8)財政的対応

コロナ対策の経費確保対策⇒予算配分見直し⇒予定した事業の停止も

コロナ関連対策費>約1億円(文科相から補助金等)

9)ワクチン接種

大学接種⇒ワクチン配給連絡待ち(聖泉大と連携、滋賀医大+彦根市民H+済生会Hの支援)



大学のさらなる発展

1. 講堂の耐震改修完成

2. データサイエンス

博士後期課程開設(3名)

修士課程定員倍増(40名)

初の学部卒業・修士修了

(就職は順調・2割は修士進学)

3. 研究

科学研究費補助金採択率が全国24位

4. 産学公連携拡大中

ウェルネスツーリズムプロデューサー養成講座

平和堂・麒麟ビール・ブリジストンと協定(彦根市協力):高校・大学・企業連携

5. 寄附金

きらきら輝く滋賀大学基金 = 第3中期累計で7億円超



大学のさらなる発展

1) データサイエンス教育拠点形成の進展

わが国初のDSの学部から博士まで一貫した人材育成体制へ

教育研究センター: 2016.6

DS学部: 2017.4 定員100名、教員18名で出発(現在38名: 助教含む)

日本統計学会「2019年度統計活動賞」受賞

DS研究科: 修士課程2019.4. 20名(企業多数)⇒2021.04 40名

博士後期課程設置(1年前倒し)2020.4. 定員3名

DS研究・教育の進展

教員が様々な学会等で受賞

学生が各種コンペで活躍、企業へのインターンシップ

DS・経済共同研究＝新型コロナの経済的影響を計測＝世界初(滋賀銀データ活用)

滋賀大発ベンチャー第2号「合同会社mitei」(DS現役学生)

高校との連携(観音寺第一、姫路西、松江南、武庫川女子)

* 教育学部に教育データサイエンティスト養成プログラム

実践的DS教育と社会連携

協定締結(県外高校含む)＝計**65件超**、共同研究等含め計**120件超**

あいおいニッセイ同和損保: 日本セーフティソサイエティ研究センター//帝国データバンク:

DEMLセンター

滋賀大学データサイエンス連携コンソーシアム設立＝企業と学生のマッチング

DS学生が企業・自治体との共同研究等に参加、学会やコンペ等で受賞

DS教材(MOOC等E-learning教材含む)の開発、公開・活用進展

大学のさらなる発展

2) 文理融合型大学とグローバル化

1. 文理融合大学

全学共通科目に「数理・DS」領域新設、全学必修化 ➤DSリテラシーの確立

DSの他学部・研究科の教育への導入の進展

経済学部: 政策-ビジネス革新創出人材プログラム(DS副専攻)

経済学研究科: DS副専攻

教育学部: 教育データサイエンティスト養成プログラム開始

教職大学院: 拡充に際してDS基礎力育成を予定

DS学部生は経済学部の経済・経営系科目履修可能

2. グローバル化＝現在(令和2)はコロナ禍でほぼ進捗停止状態、オンライン交流試行中

海外連携拡大 (中期目標は30校)⇒現在32校

エジプト・ブリティッシュ大(埃)、エセックス大(英)、ポートランド州立大(米)、徳成大(韓)と協定

長期私費留学助成新設＝100万円／人 (陵水会の経済・DS学生対象と同趣旨)

米国留学生派遣民間機関と連携・学生受入れ: CIEE京都センター

SDGsへの参画⇒UN Academic Impact申請

オンライン滋賀大学グローバルセミナー実施中(すでに13回)

3. その他

滋賀大学文化事業 *Shiga U Arte* 「書、造形と言葉の綾なす世界」

「ヘルシーキャンパス滋賀大学」宣言2021.05.31

大学のさらなる発展

3) 経済学部的发展

1年制修士課程の設置

滋賀大学スポーツカレッジ事業開始(佐藤工業との連携)

SGUテニスアカデミー

彦根商工会議所寄附講義「世界遺産学」

SDGsへの参画

サステナウィーク、People's Pantry等の様々な取り組み

研究所等統合＝経済経営研究所＋リスク研究所＋史料館

未来社会研究部門立ち上げ

学部改組計画: 5学科⇒1学科(仮: 総合経済経営学部)

人事がみる大学イメージランキング

滋賀大学が近畿で5位、全国で20位

近畿の上位は国公立大が占めた 日経HR 2020年大学イメージ調査							
順位 (全国)		大学名	総合 得点	各項目の全国順位			
				行動 力	対人 力	知力・ 学力	独創 性
1	(4)	京都大	32.43	15	--	3	1
2	(10)	大阪大	31.59	7	25	10	12
3	(16)	大阪府立大	30.75	10	8	19	--
4	(17)	神戸大	30.66	--	12	14	--
5	(20)	滋賀大	30.25	--	9	22	20
6	(24)	京都女子大	30.11	21	14	--	--
7	(33)	同志社大	29.44	--	20	--	--
8	(38)	関西大	29.31	23	--	--	--
9	(39)	関西学院大	29.30	--	--	--	--
10	(40)	和歌山大	29.26	--	--	--	19
(注) 各項目の全国順位は上位25位まで							

むすびに一今後の方向

イノベーション構想を越えて (次頁のポンチ絵参照)

未来創生「滋賀大学」構想 (学長2020.09発表)

文理融合のさらなる発展型

未来創生連携教育講座＝経済・教育のDS力強化

未来創生リベラルアーツ・滋賀大モデル

STEAM教育＋DSリテラシー

教育・経済両学部の独自の発展形の明確化

専門による論理的思考力、LAによる洞察力と判断力

⇒社会課題の派遣解決力と未来社会の構想力

陵水会への期待＝新しい経済学部構築とDS学部の強化へ

未来創生「滋賀大学」構想（経済・DS関係）

